

予 算 要 求 資 料

令和6年度3月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：保健環境研究所費

事業名 岐阜県健康科学センター空冷式ヒートポンプチラー改修工事

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

保健環境研究所 総務課 管理調整係

電話番号：058-380-2100

E-mail：c22614@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 1,487 千円 (現計予算額： 37,400 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	37,400	0	0	0	0	0	0	33,600	3,800
補 正 要求額	1,487	0	0	0	0	0	0	1,300	187
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

空冷式ヒートポンプチラーR-4は、平成11年の健康科学センター建築当時から更新されておらず、令和4年12月頃から突然停止する不具合が頻発し、設備管理業者により再起動するなどして対応しているところ。

R-4は主に保健環境研究所4階・5階の冷暖房に使用しているが、4階には質量分析計や超低温装置等があり、高温状態により故障の危険性が高まる。また、5階では主に細菌・微生物に関する検査を行っているため、室温の調節ができない状態では、正常な検査を行うことができない。

現状のままでは、検査・分析業務に重大な影響を生じる恐れがあるため、早急な改修工事が必要である。

改修工事に向けた現地調査を行ったところ、詳細な実施設計が必要であると判明したことから、その委託に係る経費を要求するもの。

(2) 事業内容

- ・空冷式ヒートポンプチラー改修工事に係る実施設計
- ・空冷式ヒートポンプチラー改修工事に係る工事

(3) 県負担・補助率の考え方
県10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事委託料	1,487	空冷式ヒートポンプチラー改修工事の実施設計
合計	1,487	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ
岐阜県県有建物長寿命化計画

(2) 後年度の財政負担
単年度事業

(3) 事業主体及びその妥当性
県有施設である

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
既設の氷蓄熱ユニット及びヒートポンプチラーを撤去し、新たにヒートポンプチラーを設置する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

施設設備の維持に係る費用であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価)	ヒートポンプチャラーの不具合が続けば、検査・分析業務に重大な影響を生じることから、早急な改修が求められる。
3	
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 工事の実施設計が完了次第、速やかに改修工事を発注する必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	